

2025 年度・中学入試（国語・第 2 回）ミニ解説

一

問一 「守備範囲」という言葉づかいが面白いところです。「だれとでも」の範囲が広いという意味です。もしも言葉通りに「守備」を受け取ったら「ウ」を選ぶかもしれません。ふだんから耳にすることも多いのか、正答率は高かったです。

問二 親のいない所で友達とだけ話をしたい、という気持ちがわかれば正解を選べます。「不敵な」という言葉でマイナスイメージの選択肢を選んだかもしれません。

問三 問九の傍線部⑦と反対の反応です。本当は「ことばをわかっている」「ゆうくん」に話しかけるのをやめたことが原因です。

問四 反対の関係の組み合わせを選びます。

問五 「んなことより」と言っているのでイではありません。普段の璃子が大変ではないかと気づかった言葉です。

問六 直後に「ゆうくんを見ていたことを見られていた」とあり、3 ページに「わたしはゆうくんを観察した」とあります。

問七 直前に「璃子も璃子のお母さんも、はっとしたのがわかった」とあり、「ゆうくん」に千秋を近づけないためだとわかります。

問八 慣用句の問題です。「どうしたらいいんだろう」と困っていたところを助けられています。

問九 「ほんとうに、ゆうが、ことばをわかっていると思う？」とあり、璃子の関心がこの点にあるのがわかります。

二

問一 傍線部①「世界が『食糧危機』に陥る」は、本文の 15 行目「世界が食べられなくなる」で同じことを言っています。その付近から理由を読み取ると、輸出地域の集中が原因であるとわかります。

問二 2 行後に「だから卵は少しずつ複数の籠に入れておくべき」とあります。問題は「～入れるな」となっているので、これを裏返して書けばよいことになります。

問三 傍線部②「その集中」は小麦が「限られた地域で生産される」ことです。14 ページの 15 行目に「つまり小麦を特産する地域が形成されていった」とあるので、ここまでに「限られた地域で生産される」経緯が書かれていると考えられます。なので、ここまでに書かれた内容と選択肢を照らし合わせて、正誤を確認します。イの「価格の変動」が「利潤」につながるという内容は本文にありません。ウの「多様な食物」の「提供」はそもそも小麦の話をしている前提に合いません。エは「労働者を集めるための食料」とありますのでこの内容も本文にはありません。

問四 傍線部③直前に「重く嵩張る食料を長距離移動させるという」とありますので、このことにお金がかかることが、「贅沢」と言われる理由となります。

問五 傍線部④以降に経緯が述べられているので、選択肢の内容を本文と照らし合わせてみると、その順番がわかります。アは14ページ16行目、イは13ページ20行目、ウは14ページ17行目、エは13ページ17行目の内容を表しています。ここから「経緯」はエ→イ→ア→ウの順となります。

問六 比喩的な表現を選ぶ問題です。しかしここでは工場で働く「労働者」の食べもののことを述べているので、ここからもウの「労働者」を選ぶことができます。また「胃袋」が比喩的に「食べもの」を意味すると考えられます。

問七  I は家庭菜園との対比で書かれているので、家庭菜園の「いろんな作物を少量ずつ」の反対を選べばよいことになります。 II は直前に「だから」とあるので、その前の文から導けることを選びます。「日持ちしない」の意味として「長持ちしない」が分かれば「早く食べる」と選べます。

問八 傍線部⑤と並列して、直後に「なるべく安く生産してなるべく高く大量に売りたい」とあるため、これが、傍線部を言いかえたものと考えられます。すると、イが「なるべく安く生産する」に当たるので、解答として選べます。

三

②「快拳」では「改」や「開」、③「喜色満面」では「気」の誤りが多くありました。様々な四字熟語に触れるよう意識しましょう。